

科目名	データ分析 2							年度	2025
英語科目名	Data Analysis 2							学期	後期
学科・学年	情報ビジネス科 2年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	大野田 和弘		教員の実務経験		有	実務経験の職種		法人代表	
【科目の目的】									
この科目の目的は、Excelを用いて様々なビジネスデータを分析し、傾向やパターンを発見し、マーケティング活動に活かすためのデータ分析スキルを身につけることです。学生は実際のビジネスシナリオに基づいてデータを解釈し、意思決定に役立てる能力を習得します。									
【科目の概要】									
この科目では、Excelを使ってデータ分析の基本的な手法を学びます。データの整理、集計、可視化などのスキルを身につけ、ビジネス上の問題に対してデータを活用して解決策を見つけ出す方法を学びます。特に、マーケティングデータを分析する手法に焦点を当てて学びます。									
【到達目標】									
データ分析の目的設定と計画 データの収集と整理 データ分析手法の選択と適用 データの可視化と解釈 ビジネス活用と戦略提案									
【授業の注意点】									
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。 理由のない遅刻や欠席は認めない。 また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。 授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	ビジネス目的に基づき、データ分析の目的を明確に設定し、計画的に取り組むことができる	ビジネス目的に基づき、データ分析の目的を設定し、計画的に取り組むことができる	データ分析の目的を一部設定し、計画的に取り組むことができる	データ分析の目的設定が限定的であり、計画的なアプローチが欠如している	データ分析の目的設定が不足しており、計画的な取り組みが見られない				
到達目標 B	適切なデータを収集し、整理するスキルを持ち、分析に適したデータを用意できる	データを適切に収集し、基本的な整理ができる	データの一部を収集し、基本的な整理ができる	データの収集や整理が限定的であり、分析に適したデータの用意が難しい	データの収集や整理が不足しており、分析に適したデータの用意が不十分である				
到達目標 C	適切なデータ分析手法を選択し、正確に適用できる	基本的なデータ分析手法を選択し、正確に適用できる	一部のデータ分析手法を選択し、正確に適用できる	データ分析手法の選択が限定的であり、適用が難しい	データ分析手法の選択が不適切であり、適用がほとんど行えない				
到達目標 D	データを適切に可視化し、傾向やパターンを的確に解釈できる	データを基本的に可視化し、傾向やパターンを解釈できる	データを一部可視化し、基本的な解釈ができる	データの可視化が限定的であり、解釈が難しい	データの可視化や解釈が不足しており、データからの有益な情報が得られない				
到達目標 E	データ分析結果からビジネスへの具体的な活用方法や戦略提案を行える	データ分析結果から基本的なビジネス活用や戦略提案を行える	データ分析結果から一部のビジネス活用や戦略提案を行える	ビジネス活用や戦略提案が限定的であり、具体性や効果が不十分である	ビジネス活用や戦略提案がほとんど行えず、データの活用が見られない				

【教科書】							
【参考資料】 毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。							
【成績の評価方法・評価基準】 試験・課題 90% 試験と課題を総合的に評価する 平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		データ分析 2				年度	2025
英語表記		Data Analysis 2				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	データ分析の基本概念	データ分析の基本的な概念と重要性を理解する	1	データ分析の定義	データ分析の基本的な理解	3	
			2	ビジネスへの応用			
			3	データ分析のプロセス			
2	Excelの基本操作とデータ準備	Excelを使用してデータの基本的な操作と準備方法を学ぶ	1	データの入力と整形	Excelの基本操作とデータの準備	3	
			2	列や行の操作			
			3	セルの書式設定			
3	データの可視化とグラフ作成	データを視覚的に理解しやすい形で表現する方法を学ぶ	1	グラフの作成	データの可視化とグラフ作成	3	
			2	データの可視化			
			3	チャートの編集			
4	データの要約と集計	データを要約し、集計する方法を学ぶ	1	SUMIFS、AVERAGEIFSなどの関数	データの要約と集計手法	3	
			2				
			3	ピボットテーブルの作成			
5	データのフィルタリングとソート	データを特定の条件に基づいて絞り込む方法を学ぶ	1	フィルタリングとソートの方法	データの絞り込みとソート	3	
			2	条件の設定			
			3				
6	データのクレンジングと前処理	データの品質向上のためのクレンジングと前処理手法を学ぶ	1	データの欠損値処理	データのクレンジングと前処理手法	3	
			2	重複削除			
			3	データ変換			
7	データの相関と回帰分析	データ間の相関や回帰分析を通じて傾向を理解する方法を学ぶ	1	相関係数	データの相関と回帰分析手法	3	
			2	回帰分析の基本			
			3	結果の解釈			
8	データの予測と予想	データを活用して将来の予測や予想を行う方法を学ぶ	1	トレンド分析	データを活用した予測手法	3	
			2	予測モデルの構築			
			3	予想結果の評価			
9	A/Bテストと効果測定	マーケティング施策の効果を測定するA/Bテストの方法を学ぶ	1	A/Bテストの実施	マーケティング効果測定とA/Bテスト手法	3	
			2	結果の分析			
			3	効果の評価			
10	セグメンテーションとターゲティング	マーケティングセグメンテーションとターゲティングの方法を学ぶ	1	セグメンテーションの種類	セグメンテーションとターゲティング手法	3	
			2	ターゲット設定			
			3	市場の特定			
11	クラスタリングと分類	データをクラスタリングし、分類する方法を学ぶ	1	クラスタリング手法	データのクラスタリングと分類手法	3	
			2	分類アルゴリズム			
			3	結果の解釈			
	データの視覚化	データを効果的に視	1	ダッシュボードの作成	データの視覚化とストーリーテリング手法		

12	とストーリーテリング	覚化し、ストーリーを伝える方法を学ぶ	2	データストーリーテリング		3	
			3				
13	データ分析プロジェクト	実際のデータを使用したデータ分析プロジェクトを行う	1	プロジェクトの計画	データ分析プロジェクトの実施と報告	3	
			2	データ分析			
			3	結果の報告			
14	データ分析プロジェクト	プロジェクトの続きと最終成果の報告	1	プロジェクトの続き	プロジェクトの完了と最終成果の報告	3	
			2	最終報告の準備			
			3				
15	データ分析の振り返りと応用	データ分析の学習成果を振り返り、ビジネス応用を考える	1	学習の振り返り	データ分析の応用と将来展望	3	
			2	ビジネスでのデータ活用			
			3				
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							